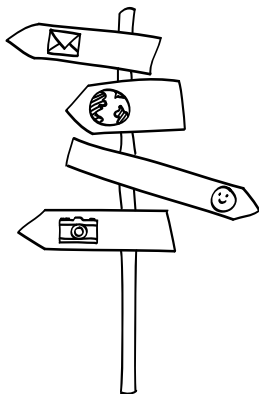
htc J one
HTL22

クイックスタートガイド

ごあいさつ

このたびは、HTC J One HTL22(以下、「HTL22」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『クイックスタートガイド』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『クイックスタートガイド』(本書)を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

- 本書では本製品に付属するクイックスタートガイド(本書)および設定ガイド、auホームページからダウンロードできる取扱説明書(詳細版)を総称して『取扱説明書』と表記します。

操作説明について

■ クイックスタートガイド(本書)

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書』アプリやauホームページより『取扱説明書(詳細版)』をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

■『取扱説明書』アプリ

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリを利用できます。

1　ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[取扱説明書]→画面の指示に従って最新の『取扱説明書』アプリをダウンロード

インストールブロックのメッセージが表示された場合は、「設定」をタップし、「不明な提供元」をタップしてチェックを付けてから、再度ダウンロードしてください。

2　ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[取扱説明書]

■ 取扱説明書ダウンロード

『クイックスタートガイド』(本書)、『設定ガイド』、『取扱説明書(詳細版)』のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。

http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL:

http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE/CDMA/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。

- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

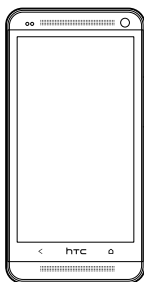
■ 周りの人への配慮も大切！

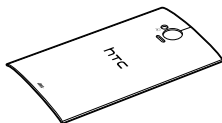
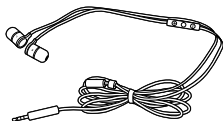
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

■ 本体

HTL22

■ 付属品

背面カバー※1※2

ステレオイヤフォンマイク（試供品）※3

- クイックスタートガイド(本書)
- 設定ガイド
- 保証書(本体)
- 指定の充電用機器をお使いください
- 強制再起動(リセット)について
- 背面カバー取扱説明書(保証書を含む)

充電用機器など以下のものは同梱されません。

- ACアダプタ
- microUSBケーブル
- microSDメモリカード

※1 お買い上げ時には、あらかじめ本体に取り付けられています。
※2 本体カラーによって型番が異なります。
背面カバー ホワイトメタル(HTL22TWA)
背面カバー ブラックメタル(HTL22TKA)
※3 ワンセグをご視聴の際は、付属のステレオイヤフォンマイク(試供品)をお使いください。

memo

◎ 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

◎ 電池は本製品に内蔵されています。お客様による取り外しはできません。

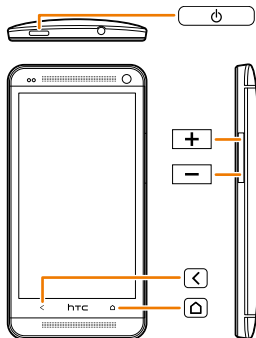
◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

目次

安全上のご注意

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。

■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面で[📞]→「141」を入力→[ダイヤル]	ホーム画面で「📞」をタップし、続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「ダイヤル」をタップします。
ホーム画面で[⌂]をダブルタップ→起動するアプリをタップ	ホーム画面で「⌂」をダブルタップして最近使用したアプリを表示させ、起動するアプリを選び、タップします。

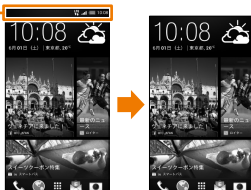
※ タップとは、ディスプレイに表示されているキー、アイコンを指で軽く触れて選択する操作です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラストおよび画面は、実際の製品および画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面上部のアイコン類などを省略しています。

実際の画面

本書の表記例

memo

◎本書では、本体カラー「ホワイトメタル」のお買い上げ時の表示を例に説明していますが、実際のキーやボタン、画面とは字体や形状が異なっていたり、一部省略している場合があります。また、本書のイラストと本製品の形状が異なることがあります。あらかじめご了承ください。

◎本書で明記していない場合は、縦画面表示からの操作を基準に説明しています。横画面表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

◎本書では「microSD™メモリカード」、「microSDHC™メモリカード」、「microSDXC™メモリカード」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

◎本書では「アプリケーション」のことを「アプリ」と省略しています。

免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ 本製品のご使用において発生したデータの消失、破損に関して、当社ではデータの復旧・回復作業は行っておりません。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
輸入元：HTC NIPPON株式会社
製造元：HTC Corporation

■お知らせ

◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

◎乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ **ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。**

- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

図記号	説明
	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくこと（強制）を示す記号です。

■ 本体、背面カバー、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・感電・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（おサイフケータイ®をロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。

金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告 **必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

	屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
	接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
	本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
水ぬれ禁止 ぬれ手禁止	水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。
	背面カバーを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。けがや故障の原因となる場合があります。
	自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。
	所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。
	乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱･発火･変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタ（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

背面カバーを外したまま使用しないでください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障･内部データの消失の原因となります。

本体から背面カバーを外したまま、放置･保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

ステレオイヤフォンマイク（試供品）などを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

ステレオイヤフォンマイク（試供品）などを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

床に放置しないでください。誤って踏みつけたり、転倒した際に、けがや事故などの原因となります。

■ 本体について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

禁止

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

指示

高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響をあたえる場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。

2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。

3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、テレビ(ワンセグ)視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

撮影ライト(フラッシュライト)をご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、撮影ライト(フラッシュライト)点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて撮影ライト(フラッシュライト)を点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

■ 本体

使用箇所	使用材料	表面処理
本体周り金属部	アルミニウム	アルマイト処理
本体周り プラスチック部	ポリカーボネート樹脂	UV塗装
ディスプレイ	ガラス	ハードコート処理
ディスプレイ周り	ポリカーボネート樹脂	UV塗装
背面カバー	アルミニウム	サンドブラスト加工＆アルマイト処理
背面カバー 取り外しレバー	ポリアセタール樹脂	シボ加工
カメラレンズ	アクリル樹脂	－
赤外線ポート	ポリカーボネート樹脂	－
音量キー	ポリカーボネート樹脂	UV塗装
電源キー	ポリカーボネート樹脂	鏡面ミガキ

■ ステレオイヤフォンマイク（試供品）

使用箇所	使用材料	表面処理
ヘッドフォン （本体金属部、htcロゴ部）	アルミニウム	アルマイト処理
ヘッドフォン （プラスチック部）	ABS樹脂 + エラストマー	－
イヤーピース	シリコンゴム	－
リモートコントローラ （金属部）	ABS樹脂	アルミ蒸着処理
リモートコントローラ （プラスチック部）	ABS樹脂	－
3.5mm plug（キャップ）	エラストマー	－

使用箇所	使用材料	表面処理
3.5mm plug(ピン)	銅	ニッケルメッキ
コード、コードロック(長さ調節のパーツ)	エラストマー	−

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

microSDメモリカードスロットの挿入口、外部接続端子、ステレオイヤホン端子に液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

ステレオイヤフォンマイク(試供品)などを持って本体を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。

夏期に閉めきった車内に放置するなど、極端な高温になる環境には置かないようにしてください。本体が熱くなり、やけどの原因となることがあります。また、電池の容量が低下しご利用できる時間が短くなったり、本体が変形し故障の原因となる場合があります。

■ 内蔵電池について

Li-ion 00

（本製品の内蔵電池は、リチウムポリマー電池です。）
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。発熱･発火･破裂･漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

■ 充電用機器について

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指定以外の充電用機器は使用しないでください。また、指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- ACアダプタ(別売):AC100～240V

指定の充電用機器(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶ P.86)をご参照ください。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器(別売)が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

指定の充電用機器(別売)のケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

お手入れをするときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

長時間使用しない場合は指定のACアダプタ(別売)の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。

指定の充電用機器(別売)は防水性能を有しておりません。水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器(別売)を抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

指示

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au Micro IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。

指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au Micro IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

他のICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。

au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。

au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

禁止

au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

禁止

au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

指示

au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、背面カバー、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

● 本製品に無理な力がかからないように使用してください。かばんの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。

また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

● 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。

（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）

● ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

● 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 充電中、本製品が高温となった場合、本体保護のため一時的に充電を中止することがあります。

■ **本体について**

- 充電中や通話中、カメラ機能動作中は、ご使用状況によっては本体の一部が温かくなりますので、手や顔などが長時間触れる場合はご注意ください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。

  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

● 背面カバーを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。

● 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。

本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊂」がau電話本体内で確認できるようになっております。

確認方法

ホーム画面で[▦]→[設定]→[バージョン情報]→[法規情報]→[認証]

本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

● 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。

- 本製品に登録された連絡先･メール･ブックマークなどの内容は、事故や故障･修理、その他取り扱いによって変化･消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化･消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料･無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンなどに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。

  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- 本製品を永久磁石（磁気ネックレス・バッグの留め金など）／家庭電化製品（テレビ、スピーカーなど）の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。本製品そのものが磁気を帯びたとき（着磁または帯磁と呼びます）は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 長時間連続して表示し続けた場合などは、本体の一部が温かくなり、長時間皮膚が接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子に外部機器を接続するときは、外部接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。

- microSDメモリカードの取り付け･取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失･故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 背面カバー内側のシートは、はがさないでください。シートをはがすと、おサイフケータイ®の読み書きができなくなる場合があります。
- 近接センサー／光センサーを指でふさいだり、センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗にセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサー／光センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ **タッチパネルについて**

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。

- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池の回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池の回収を行っております。

● 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムポリマー電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ **充電用機器について**

● ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから外してください。

● 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

● 指定の充電用機器（別売）のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ **au Micro IC Card (LTE)について**

● au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

● au Micro IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。

● 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。

● au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）などで拭いてください。

● au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。

- au Micro IC Card (LTE)以外のカードを本製品に挿入しないでください。au Micro IC Card (LTE)以外のカードを本製品に挿入して使用することはできません。
- 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card (LTE)を挿入しないでください。故障の原因になります。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽/動画/テレビ(ワンセグ)機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、ステレオイヤフォンマイク(試供品)などからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。

  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。

  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ ステレオイヤフォンマイク(試供品)について

- ステレオイヤフォンマイク(試供品)のコードをau電話に巻きつけて使用しないでください。電波の感度が落ちて、通話や通信が途切れたり雑音が入る場合があります。
- コードをねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。
- コードを振り回さないでください。

- プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。
- au電話本体にコードを巻きつけた状態で、外圧を与えたり落下させたりすると、状況によってはau電話やステレオイヤフォンマイク（試供品）に無理な力が加わり、傷がついたり故障や破損の原因となります。
  ステレオイヤフォンマイク（試供品）を使用しない場合は、au電話から取り外して保管ください。

<本製品の記録内容の控え作成のお願い>

◎ ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

※控え作成の手段：連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

■ 暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ ロック解除用暗証番号

使用例	画面ロックなどの設定／解除をする場合
初期値	なし

■ PINコード

使用例	第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

■ ロックNo.（NFC／おサイフケータイロック）

使用例	「NFC／おサイフケータイロック」を利用する場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。
- 画面ロック
- NFC／おサイフケータイロック

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、ホーム画面で[▦]→[設定]→[セキュリティ]→[au ICカード ロックを設定]→[au IC カードをロック]と操作してチェックを付けると、PINコードの入力が必要になります。また、「au IC PIN を変更」をタップすると、お客さまの必要に応じてPINコードを4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内の無線規格およびFCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi®対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- Bluetooth®機能:2.4FH1
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS4/OF4
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52（5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch）
W53（5.3GHz帯／52, 56, 60, 64ch）
W56（5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch）

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどのダウンロード、アプリによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。

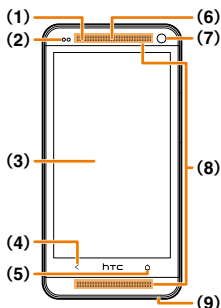
※ 無線LAN（Wi-Fi®）の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールしたアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

各部の名称と機能

■ 正面

(1) **通知ランプ：**充電状態、未確認の通知があることをお知らせします。

(2) **近接センサー／光センサー：**近接センサーは、通話中に顔などの接近を検知し、タッチパネルの誤操作を防止します。光センサーは、周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動調節します。

(3) **ディスプレイ（タッチパネル）**

(4) **戻るキー**［<］**：**前画面に戻ります。

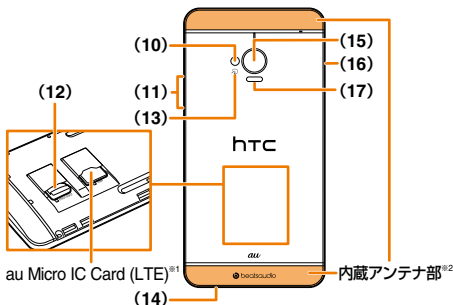
(5) **ホームキー**［⌂］**：**ホーム画面を表示します。

(6) **受話口（レシーバー）：**相手の声が聞こえます。

(7) **正面カメラ**

(8) **スピーカー**

(9) **送話口（マイク）：**通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。

■ 背面

※1　au Micro IC Card (LTE)の取り扱いについては、「au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す」（▶ P.51）をご参照ください。

※2　アンテナは、本体に内蔵されています。通話／通信品質が悪くなりますので、次の点にご注意ください。

- 通話時など内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。
- 内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。

(10)　フラッシュライト

(11)　音量キー［＋］［－］

(12)　microSDメモリカードスロット

(13)　マーク

(14)　外部接続端子

(15)　メインカメラ

(16)　背面カバー取り外しレバー

(17)　赤外線ポート

memo

◎電池は本製品に内蔵されています。お客様による取り外しはできません。

■ 上側面

(18) 電源キー

(19) ステレオイヤホン端子

背面カバーを取り外す／取り付ける

背面カバーは、本製品専用のものを使用して正しく取り付けてください。

memo

◎ 背面カバーを取り外す際は、無理な力を加えないでください。

◎ 背面カバーを取り外す前に、外部接続端子からケーブル／コードを取り外してください。

◎ 背面カバーのフチの取り扱いには十分ご注意ください。けがの原因となる場合があります。

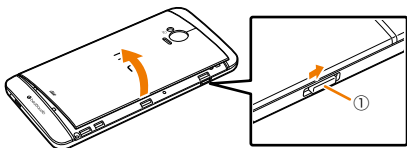
◎ 背面カバーを濡らさないでください。

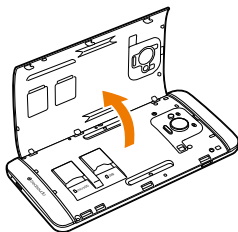
◎ 取り付け時に間違った取り付けかたをすると、背面カバーの破損の原因となります。

◎ 本体および背面カバーの金属端子部分には触れないでください。けがや故障の原因となる場合があります。

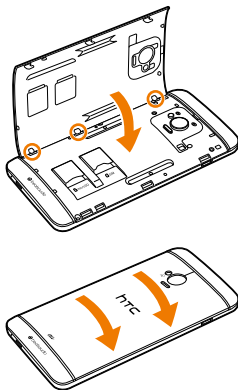
背面カバーを取り外す

1　背面カバーのロックを解除する

本体の側部にある背面カバー取り外しレバー(①)を矢印方向にスライドし、背面カバーの側部を浮かせます。

2　背面カバーを外す

浮いた部分を持ち上げて取り外します。

背面カバーを取り付ける

1　背面カバーを取り付ける

背面カバーの向きを確認して、ツメ(3箇所)を本体の溝に合わせてから背面カバー全体をしっかりと押して取り付けます。

2　背面カバーがロックされているか確認する

すき間がないように確実に取り付けられているか確認してください。

memo

◎背面カバーを正しく取り付けないと、おサイフケータイ®が使えない場合があります。

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。本製品はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードやmicro au ICカード、au Nano IC Card (LTE)を差し替えてのご利用はできません。

au Micro IC Card (LTE)

IC(金属)部分

memo

◎au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分や、本体のICカード用端子にはできるだけ触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card (LTE)を挿入しないでください。故障の原因となります。

◎au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す前に、外部接続端子からケーブル／コードを取り外してください。

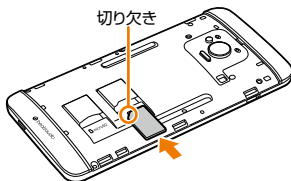
◎au Micro IC Card (LTE)を正しく取り付けていない場合やau Micro IC Card (LTE)に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。

◎取り外したau Micro IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

au Micro IC Card (LTE)の取り付けは、本製品の電源を切ってから行います。

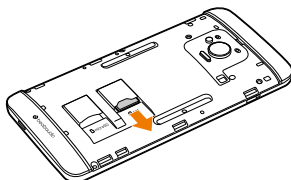
1 au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を下にして、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

切り欠きの位置にご注意ください。

au Micro IC Card (LTE)を取り外す

au Micro IC Card (LTE)の取り外しは、本製品の電源を切ってから行います。

1　au Micro IC Card (LTE)をカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、au Micro IC Card (LTE)に指を添えながら手前に戻してください。au Micro IC Card (LTE)が少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

2　au Micro IC Card (LTE)をまっすぐ引き出す

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

本製品には、microSDメモリカード（microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む）を取り付けることができます。

■ 取扱上のご注意

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、microSDメモリカードを取り外したり、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 対応のmicroSD／microSDHCメモリカード／microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける

1　背面カバーを取り外す（▶ P.49）

2　microSDメモリカードの金属端子面を下にして、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

3　背面カバーを取り付ける（▶ P.50）

ご利用の準備

memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードを取り外す前に、microSDメモリカードのマウントを解除してください。

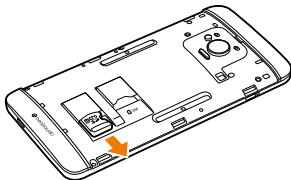
1　ホーム画面で[⊞]→[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]

マウント解除の確認画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

2　本製品の電源を切り、背面カバーを取り外す（▶ P.49）

3　microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

4　microSDメモリカードをまっすぐ引き出す

5　背面カバーを取り付ける（▶ P.50）

memo

◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。

◎ microSDメモリカードにインストールされたアプリは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。

充電する

お買い上げ時、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

memo

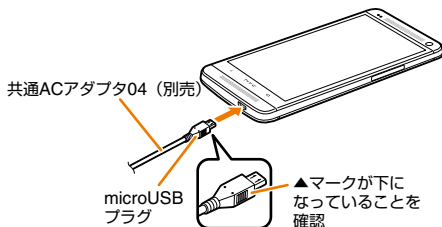
◎ ご利用可能時間については、「主な仕様」（▶ P.94）をご参照ください。

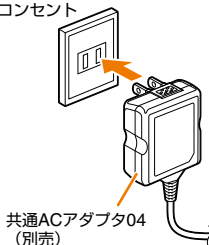
指定の充電用機器(別売)を直接本体に接続して充電する

共通ACアダプタ04(別売)を使って充電する方法を説明します。

- 指定の充電用機器(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶ P.86)をご参照ください。

1 共通ACアダプタ04(別売)のmicroUSBプラグを差し込む

microUSBプラグと外部接続端子の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。

- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

2　共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントに差し込む

充電中は通知ランプが赤色に点灯し、充電中アイコン( )がステータスバーに表示されます。充電が完了すると、通知ランプが緑色に点灯し、フル充電アイコン( )が表示されます。

3　充電が終わったら、共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

4　共通ACアダプタ04(別売)のmicroUSBプラグを持ってまっすぐ引き抜く

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **（電源キー）を約2秒以上長押ししてバイブレータが振動したら離す**

しばらくすると、ロック画面が表示されます（▶ P.60）。

memo

◎初めて電源を入れたときは、初期設定ウィザードが起動します。詳しくは、同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

電源を切る

1 **ロック画面が表示されているときはロックを解除する（▶ P.60）**

2 **（電源キー）を約2秒以上長押しする**

携帯電話オプション画面が表示されます。

3 **［電源OFF］**

■ 強制再起動（リセット）について

本製品の電池は内蔵されており、取り外せません。強制的に再起動（リセット）するには、次の手順に従って操作してください。

1 **（電源キー）を約13秒以上長押しします。**

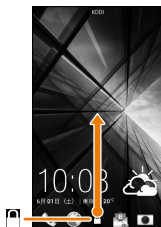
約4秒経過したときに、［<］、［⌂］が点滅し、続いて画面に再起動までのカウントダウンが表示されます。再起動するまで（電源キー）を押し続けてください。

memo

◎強制的に再起動（リセット）すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

◎携帯電話オプション画面で［再起動］→［再起動］と操作すると、すべてのアプリを終了して本製品を再起動することができます。
再起動すると、保存していないデータは消去されますのでご注意ください。

ロック解除について

ロック画面で🔒を上または左右方向にスライドすると、ロックが解除されます。

《ロック画面》

memo

◎🔒以外のアイコンを上方向にスライドすると、そのアプリが起動します。
◎画面下部（ドック）に表示するアイコンは変更することができます。

基本操作

ホーム画面について

ホーム画面は、アプリを使用するためのスタートポイントです。この画面は、ブリンクフィード画面と拡張ホーム画面で構成され、左右にフリックすると切り替えることができます。

ブリンクフィード画面	ニュース提供元を設定しておくと、ニューストピックを閲覧できます。また、FacebookなどのSNSを登録しておくと、それぞれのサービスを利用できます。
拡張ホーム画面	最大4つのホーム画面(パネル)を表示できます。 アプリ、ショートカットを起動したり、ウィジェットを表示したりします。 また、アプリ、ショートカット、ウィジェットを追加して自由に配置できます。

《ブリンクフィード画面》　《拡張ホーム画面》

① **ステータスバー**：通知アイコンとステータスアイコンが表示されます(▶ P.66)。ステータスバーを下方向にスライドすると、通知パネルを開くことができます(▶ P.67)。

② **トピックタイトルエリア**：タイトルをタップすると、各種ニューストピック(ハイライト)を閲覧できます。

③ **ドック**：アイコンをタップすると、アプリや機能を起動できます。ドックに表示するアプリは変更することができます。

	電話をかけることができます（▶ P.78）。
	Webページを閲覧できます。
	Eメール（@ezweb.ne.jp）のアドレスを利用してメールの送受信ができます。
	静止画や動画を撮影できます。

④ **カスタマイズエリア**：アプリのショートカットやウィジェットを自由に配置できます。

⑤ **アプリ**：アプリを表示します。本製品でお使いになれる主なアプリについては、「主なアプリについて」（▶ P.65）をご参照ください。

ブリンクフィードを利用する

情報を取得したいニュース提供元の設定、各種サービスの表示設定、ニュース分類項目の設定を行います。

1　ブリンクフィード画面で画面中央から下へスライド

2　[⋮]→[トピックとサービス]

ニュース提供元の設定画面が表示されます。

3　情報を取得したい提供元をタップ

基本操作

memo

◎ニュース提供元の設定画面で画面上部のタブをタップしたり左右にフリックして、各種サービスやアプリの表示設定、ニュース分類項目(カテゴリ)の設定画面に切り替えることができます。

■ 提供元の表示を切り替える

ブリンクフィード画面に表示する提供元を選択します。

1　ブリンクフィード画面で画面中央から下へスライド

2　[▼]→表示したい提供元をタップ

選択した提供元のトピックが表示されます。

- 「ハイライト」を選択すると、各提供元のトピックのハイライトを表示します。
- 「アプリ」を選択すると、設定しているアプリを表示します。

■ 情報を更新する

ブリンクフィード画面に表示するトピックを最新情報に更新します。

1　ブリンクフィード画面で画面中央から下へ、ロングタッチ状態でスライド

「離すと更新します」が表示されるまでスライドします。

2　画面から指を離す

情報が更新されます。

アプリを起動する

1　ホーム画面で[田]

2　利用するアプリのアイコンをタップ

上下にスライドすると、前後のページを表示できます。

memo

◎利用するアプリのアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

主なアプリについて

アイコン名	概要
時計	世界時計、アラーム、ストップウォッチ、タイマーとして利用できます。
天気	設定した地域の天気を確認できます。
カレンダー	カレンダーの表示や予定の登録ができます。
ギャラリー	画像や動画の共有や一覧表示、画像の編集などができます。
SMS	電話番号を宛先としてメールの送受信ができます。
Playストア	Google Playを利用できます。
設定	設定メニューを表示します（▶ P.82）。
マップ	現在地の表示／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。
YouTube	YouTubeを利用できます。
Facebook	Facebookのサービスを利用できます。
Twitter	Twitterを利用して、ツイートを投稿したり、ほかの人のツイートを読むことができます。
GREE マーケット	GREEで提供しているゲームやコンテンツを探すことができます。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

画面上部のステータスバーには本製品の状態を示すアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	発信中、通話中、着信中
	新着Eメール(@ezweb.ne.jp)あり
	新着Gmailあり
	新着SMSあり
	新着PCメールあり

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	電波状態
	圏外
	機内モード
	パケット通信(LTE)状態
	パケット通信(3G)状態
	Wi-Fi®の電波状態
	電池レベル
	充電中
	マナーモード

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されたときは、ステータスバーを下方向にスライドすると通知パネルを開くことができます。

① **通知消去:**通知を消去します。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。

② **設定:**設定メニューが表示されます(▶ P.82)。

③ **お知らせエリア:**通知によっては、タップするとその通知に関連する情報が表示されます。

④ **閉じるバー:**上方向にスライドすると通知パネルを閉じることができます。<をタップしても、通知パネルを閉じることができます。

メニューを表示する

画面に表示される「⋮」をタップします。
※ 画面によって表示は異なります。

なお、アプリによっては画面下部にメニューバーが表示される場合があります。

《メニューバーの例》

au災害対策アプリ

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害･避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用できるアプリです。

1 **ホーム画面で[▦]→[auサポート]→[au災害対策]**
au災害対策メニューが表示されます。

《au災害対策メニュー》

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1　au災害対策メニューで[災害用伝言板]

画面の指示に従って、登録／確認を行ってください。

memo

◎安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス(~ezweb.ne.jp)が必要です。あらかじめ、Eメールアドレスを設定しておいてください。Eメールアドレスの設定について、詳しくは同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

◎Wi-Fi®接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。

◎当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

※ お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害・避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。
津波警報を受信した時は、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニューで[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

memo

◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。

◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。

◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。

◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

◎ 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。

◎ 災害･避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。

◎ 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。

◎ 緊急速報メールは、情報料･通信料とも無料です。

◎ 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達･遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。

◎ 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

◎ 電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。

◎ SMS／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。

◎ 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。

◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。

◎ お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1　au災害対策メニューで[災害用音声お届けサービス]

災害用音声お届けサービス画面が表示されます。

音声を送る(送信)

1　災害用音声お届けサービス画面で[声をお届け]→①お届け先を選択※→②お届けしたい声を録音

※お届け先は、電話帳からも選択可能です。

音声を受け取る(受信)

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信(ダウンロード)し、再生することで、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

◎音声メッセージの送受信は、LTE／3Gネットワークのみで利用可能です。Wi-Fi®通信などは無効にしてご利用ください。

◎音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。

◎au携帯電話間、及びNTTドコモ･ソフトバンクモバイルの携帯電話と相互にやりとりが可能です。

◎ メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。

◎ 本体（メモリ）に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存･再生できない場合があります。

◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

電話

電話をかける

電話画面で電話番号を直接入力して電話をかけます。

1　ホーム画面で[📞]

2　ダイヤルボタンをタップして相手の電話番号を入力する

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3　[ダイヤル]→通話→[通話を終了]

memo

◎ 電話番号を間違えたときは、「⇤」をタップして番号を1桁ずつ消去します。「⇤」をロングタッチすると、入力した番号がすべて消去されます。

◎ 通話中に⌂または＜をタップすると、通話したままホーム画面に戻ります。通話中の画面を再表示するには、ホーム画面で「📞」をタップするか、ステータスバーを下方向にスライドする→お知らせエリアの通話通知をタップします。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

◎ 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。

◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。

◎ 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。

◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。

◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。

◎ 緊急通報位置通知は、日本国内のサービスです。海外では利用できません。

◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。

◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

履歴を利用して電話をかける

通話履歴から電話をかけられます。

1 ホーム画面で[📞]

2 右にフリックして通話履歴を選択

3 電話をかける相手をタップ→通話→[通話を終了]

memo

◎ 通話履歴画面で「電話帳▼」をタップすると、通話履歴を種類別に表示できます。

◎ 通話履歴をロングタッチするとオプションメニューが表示され、詳しい通話履歴の表示や通話履歴の削除、連絡先に保存などが行えます。

電話を受ける

着信があると画面にメッセージが表示され、応答するか、拒否するかを選択することができます。

1　着信中に[電話に出る]

スリープモード中の着信に応答する場合は、ロックを解除するか、「電話に出る」を上または左右方向にスライドします。

2　通話→[通話を終了]

memo

◎着信を拒否するには「拒否」をタップします。
スリープモード中の着信を拒否する場合は、「拒否」を上または左右方向にスライドします。

◎着信音を一時的に消すには、[＋]または[－]を押します。
ディスプレイを下向きにしても着信音を消すことができます。

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーに「」が表示されます。

自分の電話番号を確認する

1　ホーム画面で[▦]→[設定]→[バージョン情報]→[電話ID]→「電話番号」を確認

機能設定

設定メニューを表示する

本製品の各種機能を設定、管理します。無線LAN（Wi-Fi®）機能やセキュリティなどの設定も、ここから操作します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]

ステータスバーを下方向にスライドする→[⚙]と操作しても設定メニューを表示できます。

項目	設定内容
機内モード	通話、パケット通信（LTE／3G）、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能などの通話・通信機能をすべてオフにします。
Wi-Fi	家庭内で構築した無線LAN（Wi-Fi®）環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットに接続できます。
Bluetooth	本製品のBluetooth®機能を利用して、近くにあるBluetooth®対応機器と無線でデータをやりとりできます。
モバイルデータ	パケット通信（LTE／3G）の設定を切り替えたり、海外利用に関する設定をします。
メディア出力	HTCメディアコンパニオンデバイス（別売）とテレビをHDMIケーブルで接続し、HTCメディアコンパニオンデバイス（別売）と本製品をWi-Fi®ネットワークに接続すると、本製品の映像をテレビに表示することができます。
詳細	おサイフケータイ®などについて設定します。
個人設定	ホーム画面にアプリのショートカットやウィジェットを追加したり、表示や音の設定を行います。
アカウントと同期	オンラインサービスのアカウントの設定や、データの自動同期について設定します。
位置情報	Googleの位置情報サービスやGPS機能のオン／オフなど、位置情報（GPS情報）について設定します。

項目	設定内容
セキュリティ	画面ロックやau Micro IC Card (LTE)のPINコードなど、セキュリティについて設定します。
ユーザー補助	ユーザーの操作に音や振動で反応するサービスを有効にしたり、(⏻)で通話を終了する設定などを行います。
バックアップとリセット	本製品の設定のバックアップについて設定したり、本製品を初期化したりできます。
コンテンツを転送	HTC転送ツールをインストールして各種コンテンツを転送したり、HTC社製以外の携帯電話のコンテンツを転送したりできます。 ※HTC社製以外の携帯電話は一部の機種に限ります。
ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン	画面の明るさや文字サイズ、スリープまでの時間など、画面表示について設定したり、本製品の傾きを検出するG-Sensorを調節します。
Beats Audio	Beats Audioのオン/オフを切り替えられます。
サウンド	マナーモードや着信音など、音やバイブレータについて設定します。
通話設定	auのネットワークサービスなど、通話について設定します。
アプリケーション	アプリの管理を行います。
ストレージ	本体ストレージやmicroSDメモリカードの空き容量などを確認できます。また、microSDメモリカードのマウント/マウント解除やデータ消去をすることもできます。
電源	電池残量を確認したり、電池を使用しているアプリを確認できます。
言語とキーボード	表示言語や文字入力について設定します。
日時設定	日付と時刻の表示形式やタイムゾーンを設定します。

項目	設定内容
開発者向けオプション	本製品の開発者向け機能を利用します。
バージョン情報	本製品のバージョンなどの情報を確認したり、ソフトウェアを更新します(▶ P.88)。

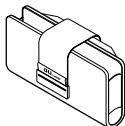
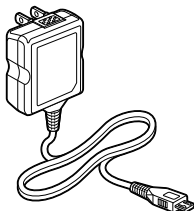
memo

TalkBackのタッチガイド機能について

◎初めてTalkBackをオンにしたときは、タッチガイド機能をオンにするかどうかのメッセージが表示されます。
タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示することができる機能です。
タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本製品の操作ができます。項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップをし、スライドをする場合は、2本の指で画面上を目的の方向へなぞります。
タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー画面→[ユーザー補助]→[TalkBack]→[⋮]→[設定]と操作し、「タッチガイド」のチェックを外します。

付録

周辺機器のご紹介

■ auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）

■ 共通ACアダプタ04（0401PWA）（別売）

※ お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）

■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

付録

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。

◎ 本製品は、ASYNC／FAX通信は非対応です。

◎ 左記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

症状	チェックする箇所	参照先
電源が入らない	● 内蔵電池は充電されていますか？ ● （電源キー）を長押ししていますか？	P.56 P.59
充電ができない	● 指定の充電用機器（別売）は正しく取り付けられていますか？	P.57
電池を利用できる時間が短い	● 十分に充電されていますか？ ● 「（圏外アイコン）」（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？ ● 内蔵電池が寿命となっていませんか？	P.33 P.56
タッチパネルで意図した通りに操作できない	● 手袋などをしたままで操作していませんか？ ● 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ ● 電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.59
ディスプレイの照明がすぐに消える	● 一定時間操作しなかったときは、電池残量を節約するために自動的に画面の表示が消えます（スリープモード）。	－
相手の方の声が聞こえない	● 受話音量が最小に設定されていませんか？ ● 受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.46 P.47

さらに詳しい内容については、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

ソフトウェアを更新する

■ ご利用上の注意

- ソフトウェア更新時のデータのダウンロードには、無線LAN（Wi-Fi®）機能、およびパケット通信（LTE／3G）が使用できます。
- パケット通信（LTE／3G）を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新にかかる情報料は無料です。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ソフトウェア更新には、時間がかかる場合があります。更新が完了するまで、本製品は使用できません。
- ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします（一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合があります）。ソフトウェア更新前に本製品に登録されたデータはそのまま残りますが、本製品の状態（故障など）により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェアの更新に伴う、一切の故障・動作不良・ソフトウェア設定ならびに仕様の変更などによって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- ソフトウェア更新中は絶対に電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

memo

◎ソフトウェア更新後に再起動しなかったときは、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアを更新する

1 **ホーム画面で[⊞]→[設定]→[バージョン情報]**

2 **[ソフトウェア アップデート]**

アップデートが必要ない場合は、「OK」をタップします。

3 **アップデートバージョンをご確認の上、[ダウンロード]をタップ**

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用して更新するときは、「Wi-Fiでのみ更新」をタップしてチェックを付けます。

4 **「今すぐインストール」をタップしてチェックを付ける→[OK]**

後でインストールする場合は、「後でインストール」をタップしてチェックを付ける→[OK]をタップします。インストールしない場合は、「インストールしない」をタップしてチェックを付ける→[OK]をタップします。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています（月額399円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。

◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。

◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。

◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。

◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。

◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について)

一般電話からは　フリーコール **0077−7−113**
(通話料無料)

au電話からは　局番なしの**113**
(通話料無料)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話/au電話からは　フリーコール **0120-925-919**
(通話料無料)

受付時間　9:00〜21:00(年中無休)

■ auアフターサービスの内容について

■ 交換用携帯電話機お届けサービス

サービス内容		安心ケータイサポートプラスLTE	
		会員	非会員
自然故障	1年目	無料	補償なし
	2年目以降	お客様負担額 1回目:5,250円 2回目:8,400円	
部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			

※ 金額はすべて税込

■ 預かり修理

サービス内容		安心ケータイサポートプラスLTE	
		会員	非会員
自然故障	1年目	無料	無料
	2年目以降	無料(3年保証)	実費負担
部分破損		お客様負担額 上限5,250円	
水濡れ·全損		お客様負担額 10,500円	
盗難、紛失		補償なし	補償なし (機種変更対応)

※ 金額はすべて税込

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種·同一色)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※ 詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎ お客様の故意·改造(分解改造·部品の交換·塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

主な仕様

ディスプレイ		約4.7インチ Super LCD 3 FHD
		1,920×1,080ドット(FHD) (最大約1,677万色)
質量		約157g
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約69mm×138mm×10.5mm
メモリ(内蔵)		ROM:約32GB RAM:約2GB
連続通話時間	国内	約820分
	海外(GSM)	約690分
	海外(CDMA)	約1,000分
連続待受時間	国内	約370時間:LTE使用時 約450時間:3G使用時
	海外(GSM)	約380時間
	海外(CDMA)	約270時間
充電時間 (共通ACアダプタ04(別売)使用時)		約150分
無線LAN(Wi-Fi®)機能		IEEE802.11a/b/g/n準拠※1
連続テザリング時間※2		約300分: パケット通信(LTE)使用時 約450分: パケット通信(3G)使用時
テザリング最大接続数		8台

※1 IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。

※2 連続テザリング時間は、無線LAN(Wi-Fi®)機能対応のクライアント(パソコンなど)を1台接続している場合の時間です。

memo

◎ 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用時間です。充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ Bluetooth®機能

通信方式	Bluetooth® ver BT 4.0※1
出力	Bluetooth®標準規格Power Class1
通信距離※2	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯	2.4GHz帯

※1 対応Bluetooth®プロファイルは次の通りです。
対応Bluetooth®プロファイルは、Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
HSP(Headset Profile)
HFP(Hands-Free Profile)
A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)
OPP(Object Push Profile)
PBAP(Phone Book Access Profile)
HID(Human Interface Device Profile)
FTP(File Transfer Profile)
PAN(Personal Area Networking Profile)
DUN1.1(Dial-up Networking Profile)※3
※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※3 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。
ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

■ カメラ

撮像素子	CMOS
有効画素数	メインカメラ:約400万画素 正面カメラ:約210万画素

■ ワンセグ

連続視聴可能時間	約5時間40分

※ 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種HTC J One HTL22の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.949W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
（**http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm**）
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ：
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ：
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ auのホームページ：
http://www.au.kddi.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、2011年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

付録

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

-Reorient or relocate the receiving antenna.

-Increase the separation between the equipment and receiver.

-Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.

-Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

This model phone is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 1.000 W/kg@1g and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.600 W/kg@1g.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of **http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/** after searching on FCC ID NM8HTL22.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at (**http://www.fcc.gov/**).

DECLARATION OF CONFORMITY

(1)
If your device belongs to Class II device, please put below countries you are intended to sold.

This equipment may be operated in:							
AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK
EE	ES	FI	FR	GB	GR	HU	IE
IT	IS	LI	LT	LU	LV	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SE	SI	SK	TR

(2)

Products with 2.4–GHz Wireless LAN Devices

For 2.4–GHz wireless LAN operation of this product, certain restrictions apply. This equipment may use the entire–2400–MHz to 2483.5–MHz frequency band (channels 1 through 13) for indoor applications. For outdoor use, only 2400-2454 MHz frequency band may be used. For the latest requirements, see **http://www.art-telecom.fr**.

(3)

For the device which tests accordance to EN60950-1:2006, it is mandatory to perform audio tests for EN50332.

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

Note: For France, headphones/earphones for this device are compliant with the sound pressure level requirement laid down in the applicable EN 50332-1: 2000 and/or EN50332-2: 2003 standard as required by French Article L.5232-1.

A pleine puissance, l'écoute prolongée du baladeur peut endommager l'audition de l'utilisateur.

(4) CE SAR Information

This device meets the EU requirements (1999/519/EC) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the

SAR limit is 2.0 W/ kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For body worn operation, this device has been tested and meets the ICNIRP exposure guidelines and the European Standard EN 62311 and EN 62209-2, for use with dedicated accessories. Use of other accessories which contain metals may not ensure compliance with ICNIRP exposure guidelines.

SAR is measured with the device at a separation of 1.5 cm to the body, while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

Head: 0.784 W/kg@10g
Body: 0.283 W/kg@10g

CE0560ⓘ

DECLARATION OF CONFORMITY

Intended for use in EU

For the following equipment:

For the following equipment:

Smartphone

(Product Description)

HTC

(Product Marketing Name)

HTL22

(Product Name)

HTC Corporation

(Manufacturer Name)

No.23, Xinghua Rd., Taoyuan City, Taoyuan County 330, Taiwan.

is herewith confirmed to comply with the essential requirements of Article 3 of the R&TTE 1999/5/EC Directive, if used for its intended use and that the following standards has been applied:

1. Health (Article 3.1.a of the R&TTE Directive)

Applied standard(s):	EN 50360: 2001+AC: 2006+A1: 2012 / EN 62311: 2008 / EN 62479: 2010 / EN 62209-1: 2006 / -2: 2010

2. Safety (Article 3.1.a of the R&TTE Directive)

Applied standard(s):	EN 60950-1: 2006 + A11: 2009 + A1: 2010 + A12: 2011

3. Electromagnetic compatibility (Article 3.1.b of the R&TTE Directive)

Applied standard(s):	EN 301 489-1 V1.9.2 / -3 V1.4.1 / -7 V1.3.1 / -17 V2.2.1 / -24 V1.5.1

4. Efficient use of the radio frequency spectrum (Article 3.2 of the R&TTE Directive)

Applied standard(s): EN 300 328 V1.7.1 / EN 301 893 V1.6.1 /EN 300 440-1 V1.6.1
EN 300 440-2 V1.4.1 / EN 301 908-1 V5.2.1 / -2 V5.2.1
EN 301 511 V9.0.2 / EN 302 291-1 V1.1.1 / -2 V1.1.1

Sean Shih
(Name and signature)
Project Manager
(Position / Title)
Taiwan 2013/04/18
(Place) (Date)

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- microSD™はSD Card Associationの商標です。
- BluetoothはBluetooth SIG, Inc. USAの登録商標です。
- Bluetooth® smart readyワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG. Inc.が所有する登録商標であり、HTC Corporationは、これら商標を使用する許可を受けています。

- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- 「Wi-Fi」および「Wi-Fi」ロゴは、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、ActiveSync®およびOutlook®のロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- 「FeliCa」はソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

付録

- [FeliCa logo]はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。
- 「Facebook」はFacebook, Inc.の登録商標です。
- iPhoneはApple Inc.の商標です。
- Appleは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Copyright 2013 Google Inc.使用許可取得済 Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Google Play™、Google Playロゴ、Google+、Google+ロゴ、Gmail™、Gmailロゴ、カレンダーロゴ、Googleマップ™、Googleマップ ロゴ、Googleトーク™、Googleトーク ロゴ、Google Chrome™、Google Chromeロゴ、Google音楽検索™ロゴ、Picasa™、Picasaロゴ、YouTube、YouTubeロゴおよびその他の商標は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Copyright © 2010- Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

- JavaおよびJavaに関する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

付録

- 「Flickr」は Yahoo! Inc.の商標または登録商標です。
- 「Beats Audio」および「B」ロゴはBeats Electronics, LLCの登録商標です。
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- 「HTC Zoe」「HTC BoomSound」「HTC BlinkFeed」はHTC Corporationの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2013 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (**http://www.openssl.org/**)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (**eay@cryptsoft.com**) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (**eay@cryptsoft.com**)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。
An export permit may be required if this device is to be used by or transferred to anyone else. No such documentation is required if you take this device out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips.

米国輸出規制により本製品をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。
This device is controlled under the export restrictions of the United States of America. A US government export permit is required to export to Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria.

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i) AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii) AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。**http://www.mpegla.com** をご参照ください。

付録

訂正のお知らせ

お客様各位

このたびは、HTC J One HTL22をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
HTC J One HTL22のクイックスタートガイドの記載内容に誤りがございましたので、お詫び申し上げますと共に、以下の内容を訂正させていただきます。

■【訂正箇所】該当ページ:P.5、「■ 付属品」上から4〜6行目

誤	正
記載なし	• 指定の充電用機器をお使いください • 強制再起動(リセット)について • 背面カバー取扱説明書(保証書を含む)

■【訂正箇所】該当ページ:P.29、「■ 本体について」上から10行目の下

誤	正
• 水中での操作	記載削除

■【訂正箇所】該当ページ:P.32、「■ 本体について」●の6項目目

誤	正
● 背面カバー内側のシートは、はがさないでください。シートをはがすと、FeliCaの読み書きができなくなる場合があります。	● 背面カバー内側のシートは、はがさないでください。シートをはがすと、おサイフケータイ®の読み書きができなくなる場合があります。

■【訂正箇所】該当ページ:P.39、「■ PINコード」下から6行目

誤	正
[設定]→[セキュリティ]→[au ICカードロックを設…	[設定]→[セキュリティ]→[au ICカード ロックを設…

■【訂正箇所】該当ページ:P.59、「電源を切る」操作3の下

誤
記載なし
正
■ 強制再起動(リセット)について 本製品の電池は内蔵されており、取り外せません。強制的に再起動(リセット)するには、次の手順に従って操作してください。 **1 〔⏻〕を約13秒以上長押しします。** 約4秒経過したときに、〔<〕、〔⌂〕が点滅し、続いて画面に再起動までのカウントダウンが表示されます。再起動するまで〔⏻〕を押し続けてください。

■【訂正箇所】該当ページ:P.60、「電源を切る」memoの1項目目

誤
記載なし
正
◎強制的に再起動(リセット)すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

■【訂正箇所】該当ページ:P.63、「ホーム画面について」③の説明文

誤	正
③ **ドック**:アイコンをタップすると、アプリや機能を起動できます。	③ **ドック**:アイコンをタップすると、アプリや機能を起動できます。ドックに表示するアプリは変更することができます。

■【訂正箇所】該当ページ:P.83、「設定メニューを表示する」表 下から4項目目

誤	
ストレージ	本体メモリやmicroSDメモリカードの空き容量などを確認できます。また、microSDメモリカードのマウント/マウント解除やデータ消去をすることもできます。

正	
ストレージ	本体ストレージやmicroSDメモリカードの空き容量などを確認できます。また、microSDメモリカードのマウント/マウント解除やデータ消去をすることもできます。

■【訂正箇所】該当ページ:P.84、「設定メニューを表示する」表の下

誤
記載なし

正

memo

TalkBackのタッチガイド機能について

◎ 初めてTalkBackをオンにしたときは、タッチガイド機能をオンにするかどうかのメッセージが表示されます。
タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示することができる機能です。
タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本製品の操作ができます。項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップをし、スライドをする場合は、2本の指で画面上を目的の方向へなぞります。
タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー画面→[ユーザー補助]→[TalkBack]→[⋮]→[設定]と操作し、「タッチガイド」のチェックを外します。

■【訂正箇所】該当ページ：P.101、「DECLARATION OF CONFORMITY」(3) Note

誤
Note: For France, headphones/earphones for this device are compliant with the sound pressure level requirment laid down in the applicable EN 50332-1: 2000 and/or EN50332-2: 2003 standard as required by Franch Article L.5232-1.
正
Note: For France, headphones/earphones for this device are compliant with the sound pressure level requirement laid down in the applicable EN 50332-1: 2000 and/or EN50332-2: 2003 standard as required by French Article L.5232-1.

以上

ご不要になったケータイや取扱説明書は お近くのauショップへ

大切な地球のために、
一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。

取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くの au ショップへ。

みなさまのご協力をお願いいたします。

新しいケータイを買った!!

使い終わったケータイと取扱説明書は大切な資源。リサイクル回収に出そう！

古いケータイと取説どーしよう？

1

回収しています

auショップへ持って行こう！

リサイクルお願いしま～す！

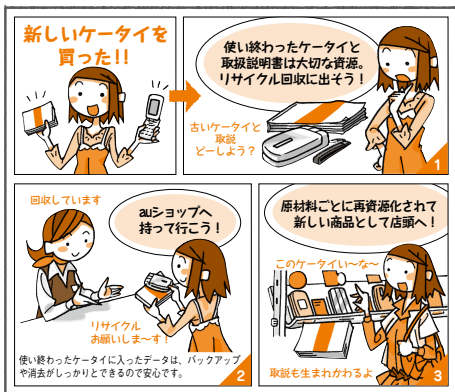
使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。

2

原材料ごとに再資源化されて新しい商品として店頭へ！

このケータイい～な～

取説も生まれかわるよ

3

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について(通話料無料)

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-111	局番なしの157番

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について(通話料無料)

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、
下記の番号にお電話ください。(無料)

フリーコール 0120-977-033(沖縄を除く地域)

フリーコール 0120-977-699(沖縄)

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について(通話料無料)

一般電話／au電話から

フリーコール 0120-925-919

受付時間　9:00～21:00（年中無休）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。

KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず(マーク)マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2013年6月第2版

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
輸入元:HTC NIPPON株式会社
製造元:HTC Corporation